

附属病院／薬剤部

1. 領域構成教職員・在職期間

講師	塚本 仁	平成28年4月～
----	------	----------

2. 研究概要

研究概要

薬剤部では、適正な薬物療法に貢献することを目的に様々な観点から研究している。例えば、個々の症例に最適な投与設計を導き出す薬物体内動態研究や、集積された臨床情報から薬剤疫学的手法を用いて、有効性・安全性を評価し、個々の適正使用情報をフィードバックするなど、個から集団へ、逆に集団から個へ、あるいは臨床から基礎へ、基礎から臨床へと幅広い研究実績を残している。特に、癌や感染症領域においては、チーム医療の中でそれぞれの専門薬剤師が中心となり、現在の高度に発展し多様化した薬物療法に安全性・有効性の科学的根拠を付加している。また、医療経済の観点から後発医薬品の使用が促進されているが、医療の質を低下させることなく後発医薬品を導入するため、その品質・安全性や医薬品情報に関する評価研究も行っている。

キーワード

薬学一般，薬物体内動態，薬剤疫学，医薬品情報，医薬品の品質管理、製剤開発

特色等

医薬品適正使用の実践に必要な情報を、薬物動態ならびに薬剤疫学の観点から構築している。薬剤部は病院において全診療科と密接に関連しており、臨床における薬物療法の有効性・安全性に関する種々の情報が入手可能であり、臨床の問題点に科学的なデータを付加し、適正使用情報としてフィードバックしている。さらに、診療情報からの副作用の自動検出システムを構築することで医薬品の適正使用の推進に取り組んでいる。そのため、他の診療科との共同研究も多い特徴がある。また、先進医療に積極的に取り組んでおり、薬物や代謝物の血中濃度測定や臨床試験のコーディネートならびにデータマネージメントをサポートしている。

本学の理念との関係

人々が健やかに暮らせるために必要な医薬品に関する薬剤疫学的調査により社会が必要としている医薬品の市販化に貢献している。
また、専門医療を実践する上での薬物療法を支える医薬品情報の評価・提供に関する研究を実践している。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2016年分	2016年分
和文原著論文		1	—
	ファーストオーサー	1	3.097 (3.097)
英文論文	コレスポンディング・オーサー	1	3.097 (3.097)
	その他	0	0 (0)
	合計	1	3.097 (3.097)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1657001

Kodawara T, Higashi T, Negoro Y, Kamitani Y, Igarashi T, Watanabe K, Tsukamoto H, Yano R, Masada M, Iwasaki H, Nakamura T: The inhibitory effect of ciprofloxacin on the β -glucuronidase-mediated deconjugation of the irinotecan metabolite SN-38-G., Basic Clin Pharmacol Toxicol, 118(5), 333-337, 201605, #3.097

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1657002

古俣孝明、山際岳朗、石橋直哉、深津祥央、矢野育子、中村敏明、松原和夫：テモゾロミド点滴静注用製剤の輸液希釈時における安定性の検討，日本病院薬剤師会雑誌，52(9)，1140-1143，201609

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1657003

末廣 陽子、塚本 仁：医薬品情報(DI)室より 注目の新薬情報：ファリーダックカプセル10mg, 同15mg, 医薬ジャーナル, 52(10), 2355-2357, 201610

1657004

森田 陽介、塚本 仁：医薬品情報(DI)室より 注目の新薬情報：ヤーボイ点滴静注液50mg, 医薬ジャーナル, 52(9), 2160-2162, 201609

1657005

塚本 仁：医薬品情報(DI)室より 注目の新薬情報：アコアラン静注用600, 医薬ジャーナル, 52(8), 1952-1954, 201608

1657006

廣野靖夫、児玉麻衣子、松村由紀子、森川美羽、高野智早、根来 寛、久保博子、小林美貴、笹川良明、浦井真友美、桑原希恵、早瀬美香、成瀬廣亮、三嶋一輝、片山寛次：消化器外科医が知っておきたい緩和医療 第12回-最終回 緩和ケアにおけるチーム医療，消化器外科, 39(8), 1189-1196, 201607

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1657007

根来 寛、塚本 仁：こんなときに使える情報源 副作用、薬物相互作用，月刊薬事，59(2)，197-204，201701

1657008

古俣孝明、中村敏明：【処方箋検査値トレーシングレポート活用術 地域医療連携に築立つ「知恵」と「コツ」】 トレーシングレポート活用事例から地域医療連携の実践ポイントを学ぶ！ 福井大学医学部附属病院でのトレーシングレポート活用事例，薬局，67(10)，2920-2924，201609

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

1657009 矢野 良一：婦人科癌における薬学的な介入，日本臨床腫瘍薬学会 ブラッシュアップセミナー2015 in 関西，20160619

b. シンポジスト・パネリスト等

1657010 塚本 仁：薬剤師から見たIGTラウンドの意義と効果，第32回日本環境感染学会総会、学術総会，再発見 IGTラウンドの効果～隣のIGTラウンド，20170224

1657011 矢野 良一：がん化学療法への誘い ～薬剤師ができること～，第10回日本緩和医療薬学会年会，がん化学療法を理解して、質の高い緩和医療を目指す！，20160604

1657012 岸 慎治、五十嵐 敏明、山内 高弘：CHOP療法でのvincristineとdoxorubicinのPK/PD相関，第37回日本臨床薬理学会学術総会，がん化学療法における臨床薬理学的アプローチ～服薬コンプライアンスから分子薬理研究，20161201

1657013 廣野靖夫，片山寛次，前田彩菜，東本真紀子，斎木明子，早瀬美香，小竹林徳子，橋本儀一，北山富士子，村上 真，五井孝憲：緩和的外科治療における術前栄養指標の重要性について，第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会，がん緩和療法における栄養療法の役割，岡山，20170223，オンライン，378

c. 一般講演（口演）

1657014 根来 寛、矢野良一、吉村真理、末廣陽子、古俣孝明、渡辺享平、塚本 仁、中村敏明、岩崎博道：エトポシド含有レジメンにおけるUGT1A1遺伝子多型と 重篤な好中球減少の関連，第54回日本癌治療学会学術集会，肺4：トランスレーショナル、リサーチ，20161021

1657015 片山寛次、廣野靖夫、北山富士子、早瀬美香、東本真紀子、斎木明子、前田彩菜、小竹林徳子、橋本儀一：乳び腹水と著しい低アルブミン血症に対しシロリムスが著効した孤発性後腹膜LAMの一例，第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会，20170224

1657016 前田彩菜、斎木明子、東本真紀子、片山寛次：持続血液透析濾過法（CHDF）施行患者における栄養療法に関する検討，第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会，20170224

1657017 廣野靖夫，片山寛次，呉林秀崇，加藤 成，藤本大裕，森川充洋，小練研司，村上 真，小竹林徳子，早瀬美香，斎木明子，橋本儀一，北山富士子，前田浩幸，五井孝憲：福井大学におけるNST活動の現状と問題点，第78回日本臨床外科学会総会，東京，201611，日臨外会誌，77（増刊号），543，201610

d. 一般講演（ポスター）

1657018 山下慎司、根来寛、矢野良一、五十嵐敏明、谷澤昭彦、片山寛次、塚本仁、岩崎博道：血清クレアチニン値補正の自動化がカルボプラチン併用化学療法の投与量設定法と副作用に与える影響，日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017，20170319

1657019 吉田真理、渡辺享平、斎木明子、東高士、今野彩、古俣孝明、上谷幸男、矢野良一、塚本仁、和田有司、岩崎博道：向精神薬によるアカシジア発現の実態に関する後方視的調査，第22回日本薬剤疫学会学術総会，20161119

1657020 吉村 真理、新谷 智則、田嶋 恭典、五十嵐 敏明、東 高士、矢野 良一、塚本 仁、岩崎 博道：タクロリムスとアスナブレビル薬物相互作用が疑われた一例，第26回日本医療薬学会年会，20160919

1657021 根来 寛、矢野良一、吉村真理、末廣陽子、山下慎司、古俣孝明、渡辺享平、塚本 仁、中村敏明、岩崎博道：クラリスロマイシン併用がアルブミン懸濁型バクリタキセルによる骨髄抑制に及ぼす影響，第26回日本医療薬学会年会，20160918

1657022 平野 陽子、渡瀬友貴、山下慎司、宇野美雪、五十嵐敏明、古俣孝明、矢野良一、塚本仁、中村敏明、岩崎博道：医薬品照合・数量管理システム導入による調剤過誤並びにインシデントに対する予防効果について，第26回医療薬学会年会，20160917

1657023 田嶋 恭典、新谷 智則、古俣 孝明、矢野 良一、塚本 仁、中村敏明、岩崎博道：病棟薬剤業務における薬剤師の情報提供と薬物療法に対する効果，第26回日本医療薬学会年会，20160917

1657024 渡瀬 友貴：ワルファリン服用患者におけるレボフロキサシン併用時のPT-INR値上昇並びに変動要因に関する調査，第 26 回日本医療薬学会年会，20160918

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

1657025 塚本 仁：CRE感染症の治療についての話題，第64回日本化学療法学会西日本支部総会/第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会，カルバペネム耐性腸内細菌の危機管理，20161125

1657026 根来 寛：高齢化社会におけるがん薬物療法臨床でがん患者と接している薬剤師による研究，日本薬学会北陸支部 第128回例会，若手シンポジウム「少子高齢化社会に貢献する薬学」，20161127

c. 一般講演（口演）

1657027 廣野靖夫，片山寛次，斎木明子，早瀬美香，小竹林徳子，橋本儀一，北山富士子，村上 真，五井孝憲：術前CONUT値を用いた緩和的外科治療における予後予測，第7回日本静脈経腸栄養学会北陸支部学術集会，金沢，20160820，抄録集，9

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1657028

斎木明子：中心静脈栄養管理時のビットホール〜ワルファリンとビタミンKの相互作用〜，株式会社大塚製薬工場、安全性啓発のための座談会，20170123

1657029

新谷 智則：薬剤師の視点でみる透析療法，第7回 福井県臨床工学会，「HD領域で使用する薬剤の薬理効果、注意点」，20160925

b. シンポジスト・パネリスト等

1657030

塚本 仁：病院における医薬品リスク管理計画の活用と問題点，第30回北陸薬物療法モニタリング懇話会，RMPの活用と今後の展望について，20160724

1657031

五十嵐 敏明：日常診療における薬学的問題点とその対応，第4回抗HIV療法ブラッシュアップセミナー，20161203

1657032

五十嵐 敏明：HIV感染症の治療薬と予防薬について，平成28年度福井県HIV/AIDSマンパワー研修会，エイズ患者の針刺し事故を考える，20170318

1657033

新谷 智則：糖尿病の薬物療法，福井県糖尿病療養指導担当者講習会，20161016

c. 一般講演（口演）

1657034

古俣 孝明：院外処方せんに対する保険薬局からの 疑義照会内容に関する調査，福井県病院薬剤師会・福井県薬剤師会学術講演会，薬物治療の連携的マネジメント，20170315

1657035

古俣 孝明：胃食道逆流症（GRED）に用いる薬剤の処方鑑査・調剤上の注意点，福井県病院薬剤師会・福井県薬剤師会学術講演会，奥越消化器疾患研究会，20161212

1657036

廣野靖夫，小竹林徳子，斎木明子，早瀬美香，浅川久美子，五井孝憲，片山寛次：当院における在宅中心静脈栄養の現状，第18回北陸PEG・在宅栄養研究会，金沢，201611

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)（一般）	腸肝循環の脱抱合メカニズムにおける薬物相互作用の分子機構解明	古俣 孝明	東 高士	2016	1430000

(B) 薬学寄附金

受入件数	4
受入金額	900000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本臨床薬理学会	指導薬剤師（その他）	中村 敏明
日本臨床薬理学会	認定薬剤師（その他）	中村 敏明
一般社団法人日本医療薬学会	出版委員会（委員）（その他）	中村 敏明

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他